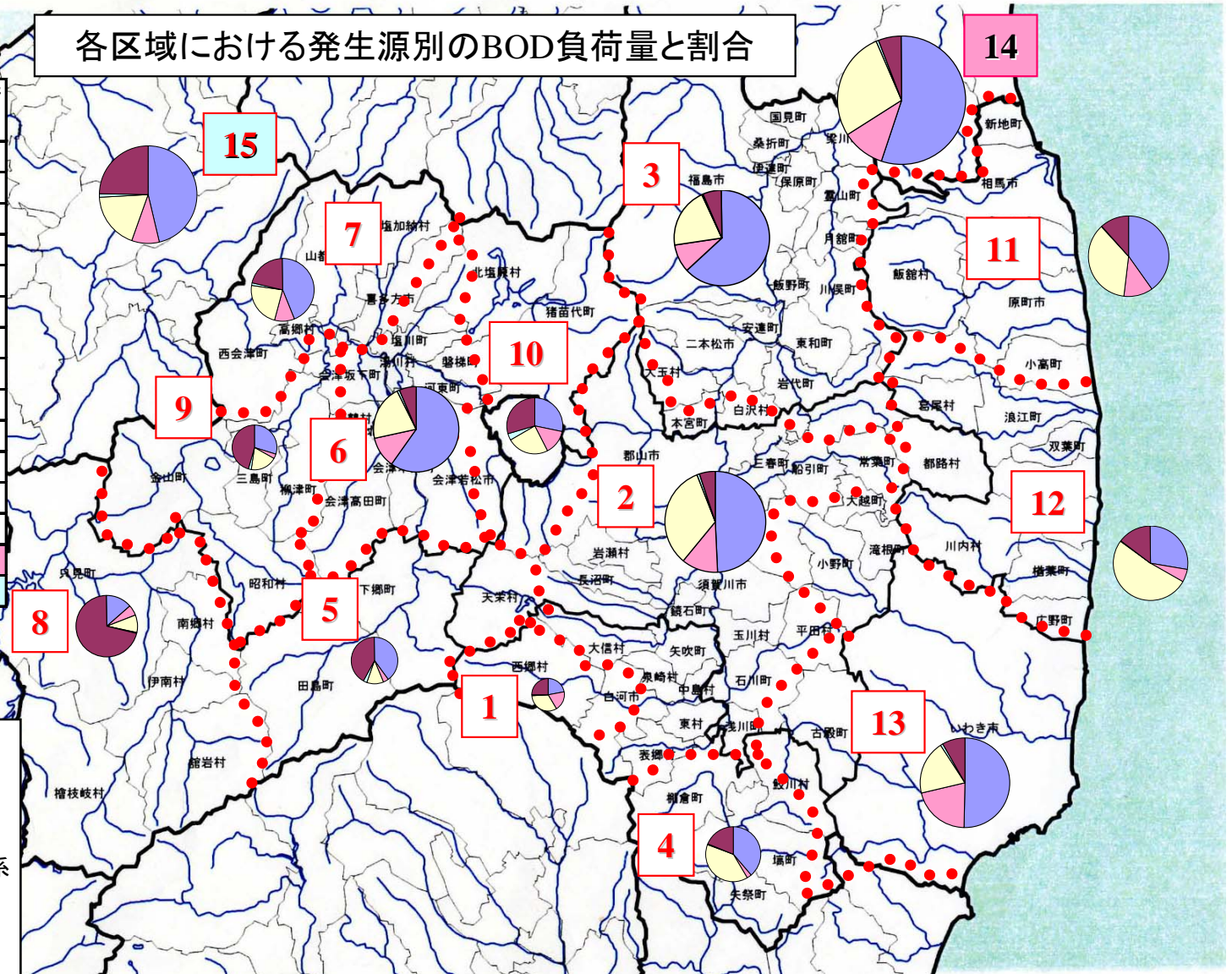
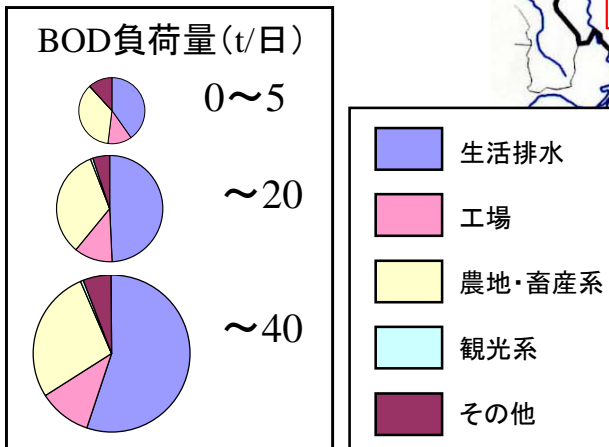


河川等に流入する汚濁負荷量は減少しているが、水質汚濁の主な原因は生活排水である

各区域における発生源別のBOD負荷量と割合

No.	流域名	生活排水割合(%)	BOD負荷量(t/日)
1	阿武隈川最上流	22	0.3
2	阿武隈川中流	49	21.3
3	阿武隈川下流	63	17.1
4	久慈川	39	2.2
5	阿賀川上流	40	1.6
6	阿賀川中流	60	7.9
7	阿賀川下流	44	2.7
8	只見川上流	14	2.2
9	只見川下流	30	1.1
10	猪苗代湖・裏磐梯	28	2.2
11	相双北部	40	5.9
12	相双南部	28	5.1
13	いわき	50	14.3
14	阿武隈川全体	55	38.7
15	阿賀野川全体	46	15.4



資料:福島県水環境グループ調査結果に基づき作成(平成16年度)

県内の河川等の水質は全体として改善されてきているが、浜通り地方の二級河川等で水質が悪化しているところがある

